

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 金 2	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 Comprehensive English			
対象年次 2年次	講義形態	演習	教室	
対象学生(クラス等) 2 E.g.	科目分類 外国語科目(英語)			
担当教員(科目責任者)/Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 担当教員: 山崎 祐一 /Eメールアドレス: yamasaki@nagasakiu.ac.jp /研究室:非常勤講師控室 /オフィシアワー:授業の前後				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: これまでに習得した語彙、発音、表現法をもとに、より豊かなコミュニケーションができるようになるため、日常生活で頻繁に用いられる英語表現を話題別に学習する。 授業方法: 異文化間コミュニケーションを意識しつつ、受講者に対し英語による4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)を促す「学習者中心」の授業展開。 授業到達目標: 機械的な反復演習だけに頼るのではなく、英語表現を学習者にとって身近な意味のある、価値のあるものとして習得する。例文を場面に応じて適切に変化させたり、設定された状況の中で既習の英語表現を用いながら自分なりの文を構築したりする能力を養成する。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 様々な英語表現を含む文章を聞き、未知の英語表現を各話題の内容に沿った形でそれぞれの意味を推測できる力を身に付ける。英語によるやり取りを実現するために、ここでは様々な状況を設定するが、細かな箇所に注意を払うというよりは、むしろ全体を大きく一つの「絵」として捉える練習をしていく。 第1回 英語の音声システム(日本語との比較と発音練習) 第2回 バレスチナの音楽家、平和の音楽レッスン - アメリカ発 第3回 新語の誕生 - アメリカ発 第4回 親を失った子供たち、ラジオ学校に未来の夢を - ザンビア発 第5回 消え行く言語 - 中国発 第6回 老舗のバイオリン生産地、アジアのコピー品に苦悩 - イタリア発 第7回 異文化理解と英語表現に関する復習 第8回 伸びる寿命と生涯教育 - アメリカ発 第9回 世界的な禁煙傾向、タバコ産業の将来は - キューバ発 第10回 豊かな資源が切り札 - モンゴル発 第11回 異文化理解と英語表現に関する復習 第12回 ダム建設が農民の生活を奪う - インド発 第13回 ストラティヴァリウスの音色はなぜ美しいのか? 第14回 ベースボール世界一は? 第15回 異文化理解と英語表現に関する復習				
キーワード	異文化理解、英語表現、英語発音			
教科書・教材・参考書	<i>What's Happening in the World</i> 小笠原真司 著 (金星堂)			
成績評価の方法・基準等	期末試験(70%)、クイズ、授業への積極的参加状況(30%)を総合して評価する。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)				